

すみだタウンミーティング 議事録

テーマ	ACTiON! すみだ SDGs 共につくる～持続可能な“すみだ”～
日時	令和4年10月15日（土）午前10時00分～正午
会場	すみだリバーサイドホール／オンライン（Zoom）
参加者	44名（会場：34名、オンライン：10名）

＜区長挨拶＞

区長 おはようございます。本日は「すみだタウンミーティング」に多くの方にご参加をいただき、ありがとうございます。

私が区長に就任してから、区民の方をはじめ色々な方との意見交換をし、区政に反映させていきたいということで継続しているが、もう8年目になった。色々なヒントをいただいて、区政の中で政策や事業に結び付けていくという、とても大事なタウンミーティングなので、皆さんからご意見をいただけることを嬉しく思っている。ぜひ、本日はよろしくお願い申し上げます。

今日のテーマは「SDGs」となるが、最近は何かと話題にあがり、行政もいろいろな政策を立案・実施しているところである。後ほど区の担当から「墨田区のSDGs（取組）」について説明を行うが、墨田区として特徴的なのは、内閣府からSDGsの達成に向けて優れた取組を提案していく都市として「SDGs 未来都市」に認定されたことである。更に、ものづくりのまちという特長を生かして、「自治体SDGsモデル事業」にもダブルで選定された。すみだはトップランナーという意味でもしっかりとした取組が必要となっている。皆さんからのご意見をいただきながら、SDGsへの取組を進化させていく。

“持続可能なすみだ”とあるが、現代社会が便利になったり、良い方向に向かいつつも、地球環境を痛めてしまったり、いろいろな不具合が出てしまっている。そういうものを少しずつ排除して、区民の皆さんや事業者の皆さんと共有して良い墨田区をつくることと、次の世代に良い環境を繋げていく責任が私たちにはあると考えている。

本日は、菊川三丁目町会とアサヒグループジャパン株式会社の方にもお越しいたいただき、町会という区民の代表と事業者の代表の事例を披露いただきながら、皆さんと意見交換ができたらと思っている。

忌憚のないご意見やご提案、皆さんがやっている取組等をお話いただき、一緒に考えていきたいと思うので、よろしくお願い申し上げます。

【SDGsの概要説明】 「SDGsの概要と墨田区の取組」（墨田区SDGs未来都市政策調整担当）

（※要旨）

①SDGsの概要について

サステナブル(SUSTAINABLE)、ディベロップメント (DEVELOPMENT)、ゴール (GOALS) の頭文字をとってSDGs(エス・ディー・ジーズ)という。持続可能な開発目標と訳され、2015

年（平成27年）9月に実施された国連サミットにて参加193カ国の満場一致で採択された。17のゴール（目標）と169のターゲットで構成されており、世界を良くしていくための国際的な目標を集めたものと言える。

SDGsを墨田区バージョンに訳してみると、S=すみだを、D=どんどん、G=グッドに、s=しよう！となる。皆さんがそれぞれの立場で、すみだを良くするために出来ることをどんどんやっっていこうと言うことである。

SDGsの17のゴールはそれぞれ独立しているのではなく、ゴール同士の関連性がある。例えば、新たな道路を作るインフラ整備の事例を想定してみると、「ゴール9の産業と技術革新の基盤をつくろう」に該当するほか、「ゴール11の住み続けられるまちづくりを」にも貢献をしており、相乗効果として良い影響を与えることになる。更には、道路を作るためには自然環境等を取り壊さねばならないため、「ゴール15の森の豊かさを守ろう」の達成の妨げとなるトレードオフの関係にもなる。お互いのゴールに影響し合っており、互いにバランスを上手く取りながらSDGsの達成に繋げていくことが大事である。

② 墨田区の取組について

墨田区では2030年のあるべき姿は、「働きがい」を起点にした、「生きがい」のある豊かな暮らしを掲げている。本区は「経済」、「社会」、「環境」の3側面の分野でとらえており、各分野の取組を進めることで他の分野にも良い影響を与え合うことを目指している。

○「経済」：企業や事業者が「稼げる」ように区がサポートしながら、経済を元気にしよう！

⇒ものづくりの事業者が多く集まっているすみだの特徴を活かして、新しいアイデアをもったスタートアップ企業を区内外より誘致をすることによって、既存の技術と新しいアイデアを掛け合わせることで社会の役に立つ製品を生み出す。

○「社会」：区民の健康を守り、誰もが「生き生きと健康的」に暮らせる、まちにしよう！

⇒企業などに対して健康経営を推奨したり、千葉大学と連携をして何歳ぐらいでどのような病気にかかりやすいか、未然防止に向けてデータベース化を進めている。

○「環境」：一人ひとりが環境のことを大切に考え、「持続可能なすみだ」をつくろう！

⇒区民の皆さんや事業者の方々と連携して脱炭素社会など循環型社会に取り組む。身近な例ではエコバックを持ち歩こうとか、食べ残しを無くそうと言ったことにも繋がり、普段の「生活の中で身近に、無理なく行える環境配慮型の取組」に対して検討していく。

〈経済分野の取組の具体例〉

区内の金属加工メーカーである浜野製作所とスタートアップ企業であるオリィ研究所が開発した分身ロボットOriHime(オリヒメ)は、遠隔操作ができ障がいを持った人などが在宅からでもカフェ等店舗の接客が可能となる。障がい者をはじめ就労面での画期的な支援に結び付けることが可能となり、実用化に向けて改良が行われている。

【ディスカッション①】「あなたが考えるSDGs」

〈興味のあるSDGsの分野や実際に取り組んでいるSDGsのアクションなどについて〉

区民A 隅田公園の隣に住んでいる。ごみの出し方を守らないとか、不法投棄とかがある。日々当たり前、目の前のことをやっていくことが必要。SDGs という立派な標語もあるが、何が環境に良いのか、地球に良いのか、次の世代にとって良いのかを常に考えて、日々の積み重ねを日々考えてやっていくことが大事だと思う。

悪い例となるが、不法投棄のシールが貼ってあって、一ヶ月半くらいそのままになっていた。雨に濡れてどんどん汚くなっていた。日々当たり前のことをしっかりやっていく必要がある。

区民B ワクチン接種の予約について。一人暮らしの高齢の方々に歩くのが困難であったり、インターネット環境をはじめスマホが使いなかつたりする方が、ワクチンの予約ができない状態になっている。私が代わりに区役所に電話をして予約ができたということがあった。そういった方で、近所付き合いがない方でもワクチン接種予約ができるような手助けを行政でやっていくべきではないか。これは墨田区内だけの問題ではないが、考え方をいただきたい。

区長 先ほどSDGsについて区からの説明もあったが、目標を掲げて何かを達成しようというより、日常の中で対応すべきであり、実はそれがSDGsにも繋がっているのではないかというご指摘と承った。隅田公園がきれいになり、でもルールやマナーを守っていただけないとすると、本来の憩いの場や賑わいが一気によくない印象になる。SDGsを掲げながらも、日常の生活の積み重ねなのではないだろうか、というお話をいただいた。

また、誰ひとり取り残さないという体制づくりを町会でも区役所でも基盤にしている。例えば高齢者の一人暮らしでワクチン予約が困難であるというような人を取り残さず、ワクチン接種につなげていく。区でも常に考えていくべき日々の取組の一つだと思う。我々がそういう方を見つけ出して対応するのは難しいところもあるが、SDGsというところに重ね合わせ対応していかないといけないと思う。

区民C 電設資材を扱っている業界で、簡単に言えば照明器具や換気扇、エアコンなどの電気工事材料を取り扱っている。扱っている商品ごとにSDGsのどれに該当するのかチラシを作り、日々の商いの中からどんなことがSDGsにつながっているのかを示し、人にやさしく、まちにやさしく、環境にやさしい商品をお客様に紹介できるように取り組んでいる。

区民D 過剰包装が多くて、家のごみの半分はビニールやプラスチックなどの包装材等のごみである。昔はお醤油5尺くださいみたいな買い方だったが、便利になりすぎたことが影響していると思う。私が今着ている服は、50年前に母が着ていた服である。服も捨てるのはもったいないから、区役所や清掃事務所等に持ち込んでいるが、着ないものはリサイクルに出すようにしている。

区民E 最近、食品ロスの関係で、パン屋さんが売れ残ったパンを安く、高校などで販売をし

ているというニュースを見た。私も改めて、そのような売れ残ったものについて、墨田区の場合には、どうしているのかと関心が出てきた。売れ残ったものの活用方法を考えることは、貧困対策にもつながったりするため、問題提起を発信できないかと考える。

区民F 自分が実際に取り組んでいるのが、食品ロスについて。大手ファーストフード店でアルバイトをしているが、注文ミスが起きると、廃棄が多くなってしまうので、ミスがないように徹底したり、閉店時に作りすぎて廃棄がでないようにストックの管理を徹底したりしている。アルバイトをして学んだので、生活面においても食品ロスにならないように取り組んでいる。

区長 最初の電気工事資材の話であるが、各業界でこういう努力をしながら、購入される方にも選んでいただき、SDGsにつながるように今後もやっていきたいというご意見であった。それぞれの業界を挙げて、自分たちのSDGsを考え商売をしていただくということが大事であると感じる。墨田区としては、SDGs 担当からも皆さんに共有していくという話があった中で、それぞれの業界の取組も良い事例として広げていくことが必要である。また、国をあげてSDGsに結びつく技術革新をしていくながら、商品化・製品化されていくことも大事ではないか。やはり墨田区はものづくりのまちなので、先進的な取組や技術をしっかり示していきたい。

次いで、「過剰包装」について指摘をいただいた。いまだに過剰包装があると感じる。商店街連合会の皆さんや、色々な皆さんとの意見交換のうえで、改善していく必要もあるのではと思う。昔の時代の量り売りであったり、また50年前のお着物をリフォームして着ている、捨てられないという想いも大事なことだと思う。

そして、お二人は食品ロスについて、非常にわかりやすく他自治体の事例も言っていた。区としてしっかり取り組むべき課題であり、墨田区議会の食品ロスに関する特別委員会で議論し、提言をいただくこととなっている。区議会は地域の代表であるから、それぞれの地域の取組や、議員の考えを取りまとめていただいて、我々に頂戴できるというのは、非常にありがたいことである。活用方法や貧困対策、売れ残ったものがどこにいくのか、廃棄せず、つなげていくにはどうしたらいいか考えていく必要がある。一週間前に食品ロスの取組として、区の職員が錦糸町パルコでフードドライブをやった。期限が来そうな食品をお持ちくださいという取組をしたところ、もっと広報できたらという点もあったが、思いのある方々が食品を持ってきてくれて、20、30キロになった。これからはフードパントリーという取組も含めてしっかりやっていきたい。

高校生の参加者が、日常生活のアルバイトの中でどう感じているか、この場で伝えてくれることは、とてもありがたいと思う。そういう想いを持つ高校生や大学生、また中学生や小学生にも想いが一緒につながって、この世代の子どもたちが将来を考えていくことになると、区、東京都、日本全体としても大変心強いと思う。そういう想いを学校内や友達同士でもぜひ広げていってほしい。これからも身近な意見を私たちに伝えてほしい。

区民G SDGsについての興味は環境の面。地球温暖化、気候変動での仕事も関連しているところがあるが、先ほど隅田公園のごみの話があった。私も隅田公園の近くに住んでいて、ごみ

が多いなと感じていた。毎朝、隅田川沿いを小さな子どもと一緒に散歩しているが、同時にゴミ拾いも始めた。とてもゴミが多いことに改めて気づいた。隅田公園だけでなく、普通の道にも缶やペットボトル、吸い殻などのごみがたくさんある。10分、15分散歩しただけでもゴミ袋がいっぱいになってしまう。墨田区に限らずマナーの悪い方は多く、人の気持ちを変えていくという普及活動も必要だと思う。また、水路は自分でゴミ拾いできないが、水鳥がゴミを食べようとしていたりするので、検討いただきたい。

区長 日常の朝の行動から、ゴミの問題についても指摘をいただいた。SDGsの中の、地球環境を守るということには、地球温暖化、気候変動によって、大雨による洪水ということも一つのテーマであるし、ご指摘いただいたゴミを捨てない、ルール以外のゴミを出さないなど、今後ゴミの処理をどうやっていくのか、区にとっても非常に大きなテーマになっている。墨田区は、サーマルリサイクルとあって、プラスチックも含めて燃やして、燃やした熱を利用して次のことに繋げていくという方向性を取っていたが、今後はプラスチックゴミを分けて、清掃工場で何を燃やして何をリサイクルしていくか、改めて考えていく時期にきた。そうなる日常の行動に、区民の皆さんにご理解とご協力をいただく必要が出てくる。プラスチックは別に回収するとなると、一人ひとりがルールを守って対応してもらう必要がある。区民全員に我々の想いや今後のやるべきこと、ゴミ問題、地球環境というものを広く届けていけないといけないということも私たちのテーマである。隅田公園、散歩の中から、非常に貴重なご提案、ご意見をいただいた。

【事例紹介①】「日常生活でできる身近なSDGsの取組み」（菊川三丁目町会）

菊川三丁目は墨田区の一番南端にあり、東京ドーム 2.4 個分の中に、約 4 千人が生活している人口密集地の町会。昔は工場とかが多かったが、最近では住宅が多くなってきた。昭和 22 年に墨田区ができたが、その 5 年後には墨田区菊川三丁目町会が正式発足したという記録がある。実に今年で 70 年を迎えるアニバーサリーな年でもある。

○SDGs に取組んだきっかけ

「町内の人口は増えているが、町会活動に関心が集まらない」、「マンションが増えているが町会と繋がりが少ない」、「子どもからお年寄りまで共通の話題が欲しい」といった各町会が抱えている課題

○現状分析

人口は、特に 10 年ほど前よりワンルームマンション建設が盛んで増え続けている。一方、世帯人口では昭和 20～30 年代は一世帯当たり 4.7 人であったが、最近では 1.7 人までに下がっている。人口分布で見ると 16 歳以上 64 歳までの生産年齢人口が高く、子どもの比率が減っており、地縁のない世帯単身者が増えているということになる。

○町会活性化に向けた取組としての SDGs

転入してきた新たな住民から、「町会は気になる存在だが、加入するきっかけがない」という意見を聞くことが多いことや、単身で仕事をメインにしている住民の方に対しては、少しでも町会活動に興味を持ってもらい、参加してみてもよいと思わせる共通言語を探した結果、当

町会は SDGs にたどり着いた。既に行っている町内活動を SDGs のカテゴリーに当てはめることから始め、SDGs の各ゴールを町会ならではの言葉に言い換えをした。

例えば、資源回収。誰でもできる取組なので、これまで参加されてこなかった方や新たな住民の方にも興味を持って受け入れてもらえるよう伝えた。SDGs が新たなコミュニティ形成の伸びしろになるのではないかな。

その他にも町会の掲示板や SNS でも掲載している。SDGs の 17 のゴールマークを町会新聞に記載したりしている。墨田区 SDGs 宣言証ももらい、啓蒙活動に活用している。

最後に、8月にお祭り(亀戸天神例大祭)もやったことを報告したい。これも SDGs につながるのではないかな。子どもたちのために SDGs をやっていきたいなと思った。SNS を活用して写真コンクールにも取り組んだ。SDGs を町会としても広めていきたい。

【事例紹介②】「区内事業者のSDGsの取組み」(アサヒグループジャパン株式会社)

○アサヒグループと SDGs

アサヒグループは、日本以外にもヨーロッパ(AEI)、オセアニア(AHA)、東南アジア(ASA)の世界4拠点体制をとっている。SDGs は特にヨーロッパが進んでおり、その先進事例等も取り入れて対応している。企業としても大事な取組の1つとなっている。

アサヒグループ全体の SDGs の取組みについてご紹介する。SDGs のゴール別に課題を分けると、「環境」、「人」、「コミュニティ」、「健康」、「責任ある飲酒」の5つに分類され、最近はその中でも環境とコミュニティに注力している。

SDGs を推進するためにアサヒグループ本体が立ち上げたのがアサヒユウアス株式会社である。本体のコア事業が飲料なので、プラスチックのコップをリユース(再使用)カップに変えて、プラスチックごみを削減したり、販売やレンタルもしている。また「もぐカップ」と言って、飲んだあとに食べられるものも作ったりしている。

○墨田区との関わり

墨田区との関係としては、子ども向けの SDGs ワークショップをするほか、関東合成工業やバナナファクトリー、すみだ珈琲、ベーカリーチャウチャウといったいろいろな企業と連携をしている。また、先週まで実証実験をしていたキラキラ橋商店街でのプラスチック容器に代わるリユース容器も検討中である。

企業、住民といろいろと連携する中で SDGs が実現できていくのだと思う。また法律等が変わると人の行動が変わるところもあるので、そういうこともセットで変わっていくと良い。

【ディスカッション②】「みんなで取り組もう！SDGs」(前半)

＜事例紹介を聞いて気づいたSDGsに対する新しい発見や、意見・感想＞

区民H 再生エネルギーの会社に勤めている。趣味で3年ほど前に、いらなくなったものを譲りあうようなアプリをつくり、茨城県のコンテストで入賞した。コロナで活動できていなかったが、そろそろ活動を広げようと思っている。今考えているのがDAO(分散型自律組織)。中央集権的に役所が全部やるというのは人材不足等で難しいのではないかな。区民が自

立したコミュニティを作って、自ら解決するという姿が良いのではないかと思います。そういったアプリケーションを考えており、みんなでつなぎ合いながら、誰がどういう人が分かりあって譲り合ったり、イベントを立ち上げたり活動するというアプリを作りたいが、こういうことをやるのはお金がかかる。継続的・持続的に取り組むためには、企業のスポンサーや区からの補助などの支援があると、活動しやすい。

区民 I 介護職員をしている。SDGs「3＝すべての人に健康と福祉を」のゴールから、デイサービスのおばあちゃんが言うには、前はよく散歩をしていたが、休憩するベンチがなくなってしまった。最近では休みながらじゃないと歩けないので、つい外に出なくなってしまった。改めて、外にベンチをつくってほしい。年配者の方はいったん筋力が衰えると回復するのは厳しい。ぜひ、ベンチの設置を推進してほしい。

区長 2点頂戴した。一つ目は、こういう想いを広げるためにはどうしたらいいか、効果的に効率的に、わかりやすく人が繋がっていく、想いを共有する、そのツールとして、今話していただいたことは重要だと思う。情報として入ってこない、みんな伝えることができない。譲り合いアプリは面白い発想で、区民や地域コミュニティをつなぐツールで、ぜひそういったご意見や発想を聞かせて届けていただきたい。ものづくりの墨田区が、ものづくりを活用して良い製品を開発していくことと同じように、つなぐツールを作っていく、将来的にそれが区外にも広がっていくのは夢でもある。

デイサービスの話は、ワクチンの予約困難と同じことでもあり、「全てのの人に健康と福祉を」ということを具現化していく中にある。お休み処、長く歩いてふっと休めるところ、これはベンチという手段もあるし、そのほかの手段もあるのかと思う。もっと言うと高齢者の方の居場所、新たな居場所を行政として準備していくことも必要。鐘ヶ淵や北部の高齢者支援総合センターでは、オレンジベンチをつくるという取組もしている。区全体でどうしていくかということが大切。

【ディスカッション②】「みんなで取り組もう！SDGs」（後半）

＜これから取り組んでいきたいSDGsのアクション・目標、墨田区全体でSDGsに取り組んでいくためのアイデア・提案 等＞

区民 J 町会の方の事例発表を聞いて、町会でSDGsの独自の解釈を加えて町会マップを作っている点がとても素敵だと思った。そこから発想を得たが、立場や世代によってSDGsの解釈も違うと思うので、小学校、中学校、高校、大学で、それぞれの解釈を加えて地域のマップを作り、観光マップと連動させたりしたら面白いと思う。既にあるものを、活用方法や視点を変えることでSDGsにつながるということもある。新しいことをするとハードルが上がるが、既にあるものを活かしていくという考えも新しい発見であったし、自分も大学でやってみたいと思う。

区民K 一番興味を持っているのは、「質の高い教育をみんなに」。今、教育関係に携わっていることと、娘に視覚障害があることから興味を持っている。特別支援学級を学校に導入いただけないか区に相談したが、盲学校を案内され選択肢がそれしかないのかなと思った。社会課題の解決は、口で言うのは簡単であるが、やることはたくさんある。一番大事なのは、目の前にいる一人を幸せにすることかなと思う。自分の娘のことだけではなく、目の前の一人の人を幸せにするということをもっとやっていきたい。区に丸投げしたいのではなく、区政により深く関わっていくことはできないのかと思った。そもそもそういった区政に対して一緒に深く検討していく場があるのか、無いのであれば本気で一緒に考えさせていただきたい。タウンミーティングは良い機会だと思うし、これからも深くたくさん関わってきたい。

区長 大学のあるまちづくりを進めているが、墨田区の大学に入学し、墨田区をフィールドに色々なことを感じたり、活動したり、勉強していただいている。そういう学生さんが、菊川三丁目町会さんやアサヒグループジャパンさんのお話を聞いて、そのような活動をしているのだと学ぶ良い機会になり、大学で自分の研究や今後の勉強テーマとして活かしていきたいと発言された。今日のタウンミーティングは循環や、人のつながりができたなど感じる。ぜひ大学生のフレッシュな感覚で、既にあるものを活かす提案をしていただきたい。それが今度町会に戻ったり、アサヒさんの事業のヒントになり、循環していくことが墨田区の良いところだと思うので、ぜひこれからも積極的に関わっていただきたい。

区政全般が動いていく中で、ご指摘の一人の人、お困りになっている方や一人暮らしでなかなか声が届かない高齢者など、色々な世代、色々な困りごとを持った方々がいる。そこに真摯に手を差し伸べて対応していくことが大事であり、区職員にも言い聞かせてこれからも区政を推進していきたいと思う。課題や一人の人の状況に対して、一緒に考えることは区政の基本だと思っている。ぜひ、そういう声をしっかり聴かせていただきたい。区政のテーマは様々あり、例えば、防災、産業振興、コロナ対策、教育、それぞれについて考える審議会がある。公募委員を募って、公募によって区政参画をいただくという形もある。今日のようにタウンミーティングでお声をいただくこともありがたい。意見を届けたいときにSNSもあるし、お会いしてお話をし、区民提案型で何かあればぜひ承りたい。困りごとがある方の相談を私たちはしっかりと受け止め聞く機会を作り、一緒に考えて解決していきたい。

区民L 民生委員をやっている。個人としては、墨田区がSDGs未来都市に選定されたことを知ったのはつい最近なので、区民にもっとアピールしてほしい。区民として、区とともにこの目標に向かって具体的にできることを、提案・提示していただきたい。

民生委員の活動として、高齢者名簿をいただいて訪問をしているが、家族と住んでいても、日中独居の人が多くいらっしゃることを実感する。高齢者名簿には、家族と同居している人は載らないが、掲載を検討してほしい。個人としては、我が家ではプラスチックゴミを減らすために竹の歯ブラシを使うようになった。

区民M 6月の区議会でもゼロカーボンシティについて質問があった際に、区長はゼロカーボンシティをきっかけとして、皆さんによく考えてもらいゼロカーボンを目指そうという話をされたと思う。ゼロカーボンシティを打ち出した時の区長の気持ち、考えを聞きたい。

区長 民生委員として活躍いただき、活動の中で気づいた点。高齢者に日中独居という方がいらっしゃる中で、どのように円滑に、お仕事をさせていただけるのかという課題だと思う。これは私も具体的などころまでは把握できていないが、そういうお声を担当のほうにもいただきながら、具体的にどこが困っていて、どうしていくことが高齢者のためになるのか、一緒に考えていきたいと思う。竹の歯ブラシを使っていただいております、プラスチックを出さないという点で素晴らしい取組だと思う。例えば、区内にあるライオン株式会社さんでは、歯ブラシリサイクルをしていた。使った歯ブラシを回収し、特殊な技術を使って子どもたちのスケール（定規）にして学校に配るといったような取組をしていたり、また、シャンプーなどはボトルから詰め替え用という考え方が出てきて、曳舟のイトーヨーカドーさんが、使用済み詰め替えパックを回収しリサイクルをするなどの企業の動きもある。我々の課題の一つとして、良い取組を皆さんにお知らせする、発信していくことが大事だと思った。

ゼロカーボンシティ2050宣言については、子どもや孫の世代になった時に、例えば気温が40度になったり、大洪水が毎年日本でも起こる時代が来てしまうことを考えると、今、私たちがすべきことを、みんなで一緒になってやらなければならない。子どもや孫の世代に良い地球環境をしっかりと整えなければならない。切羽詰まった今の時代に生きる私たちの目標だと思っている。あえて、ゼロカーボンシティ2050宣言を区としても発信することの意味合いを区民の皆さんに共有していただく必要がある。墨田区の脱酸素社会をみんなで考えていくことの一つのきっかけでもある。例えば区の庁有車を数年のうちに水素自動車や電気自動車に変えていったり、電球・電灯もLED化をする。区が率先してやっていくことも一つであるし、それぞれ区民の皆さんにも、再生エネルギーの活用であったり、色々なことをしっかりお伝えして、一人ひとりに一緒に協力していただく体制づくりを発信していきたいということが、大きな理由である。

区民N 素晴らしい取組を聞かせていただいたが、ふと気になったのは、SDGsとは「誰一人取り残さない」ということであり、町会の事例では、自分たちでわかりやすい言葉に置き換えるというのが素晴らしかった。一方で、アサヒさんや区の説明は横文字で難しい言葉が多かった。やさしい日本語は、外国をルーツにする方だけのものではない。全ての人にわかりやすい言葉に置き換えて伝えるということ、区としても取り組んでいただけたら、もっと広がるのではないかと思った。

区長 区としても、分かりやすく伝えるということは、この取組をやっていくうえで大きな課題の一つだと思う。本当にありがたいご意見をいただきました。SDGsとは何か、区民の目線で区民が感じることを私たちが一体どのように表現するか、基本中の基本のところ的大事である。今日「(S) 墨田区を (D) どんどん (G) グッドに (s) しよう」と言ったのは面白

いと思ったが、それを含めてもう少しわかりやすく伝える。それによって広がっていくものである。基本に立ち返って、わかりやすい日本語であったり、伝える力を理解してこれからは臨んでいきたい。

区長総括 大変様々な方からご意見をいただき、私自身の参考にもなった。菊川三丁目町会さんの、町会の歴史から始まってSDGsの説明のくだりは素晴らしかった。このような、いち町会の取組が区内の171の町会に広がっていくと、未来都市の姿を表せるのかなと思わせる力強い発表だった。

町会という、いちコミュニティと、墨田区に本社を置く大企業の方が、色々なことを考えてSDGsの取組みをしっかりといただいている。キラキラ橋商店街で、先ほどの量り売りの話でもあるが、自分で持って行った器に料理を入れてもらい、持ち帰って食べてまた次の商店に行くという、昭和時代に戻る訳だが、そこが根底にあって、アサヒグループさんにも協力してもらっており、象徴的な取組みを実施していただいているところである。これからも連携してほしい。

今日は様々なご意見をいただいた。我々が区政に活かさなければならない、そういうご提言をいただいたので、明日から頑張って取組み、皆さんにお知らせする広報活動も含めて、区を挙げてみんなで協力し合ってやっていきたい。本当に今日はありがとうございます。

以上